

京都府漁海況情報

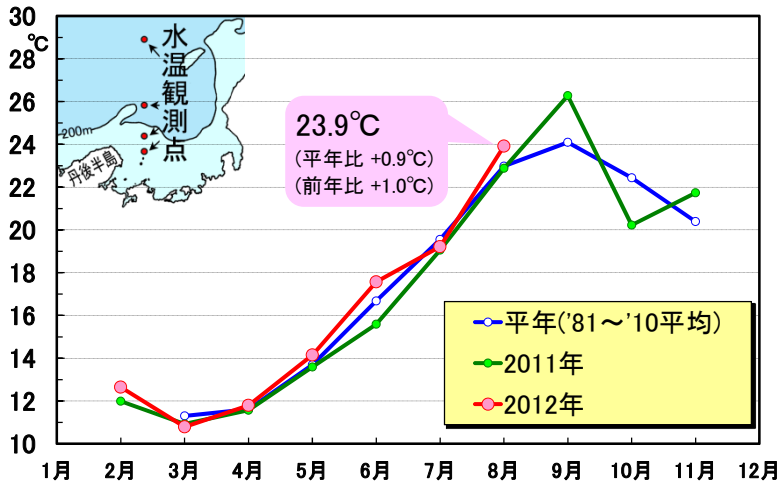
京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況

【現況】

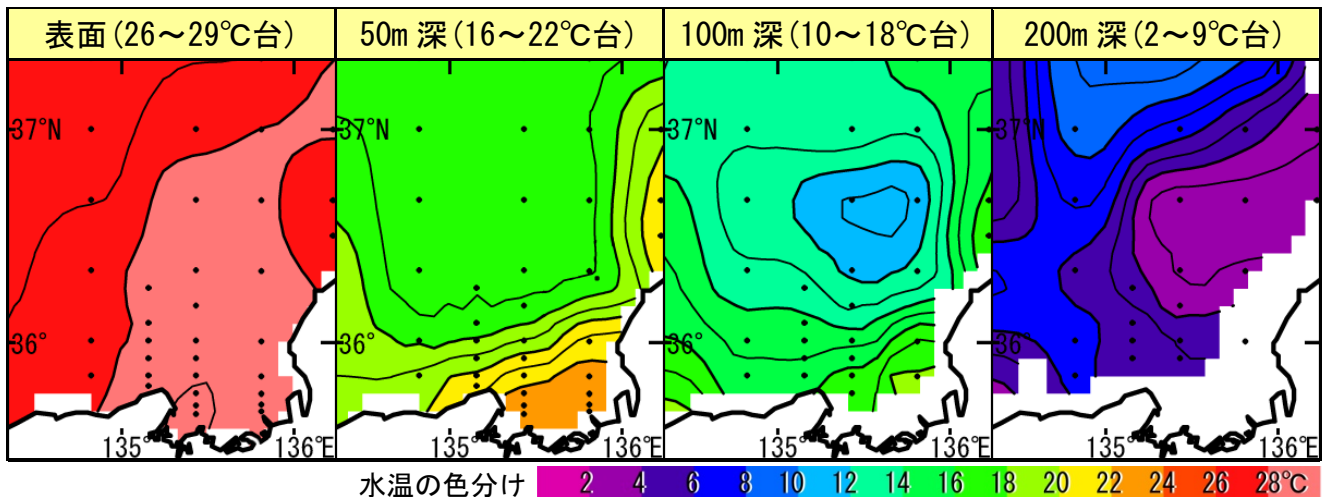
8月上旬における京都府周辺の表層水温は、平年よりやや高めで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2012年8月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：気象庁、(独)日本海区水産研究所

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並みか平年よりやや高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並みか平年より強め」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し※	「平年並み」で推移する見込み

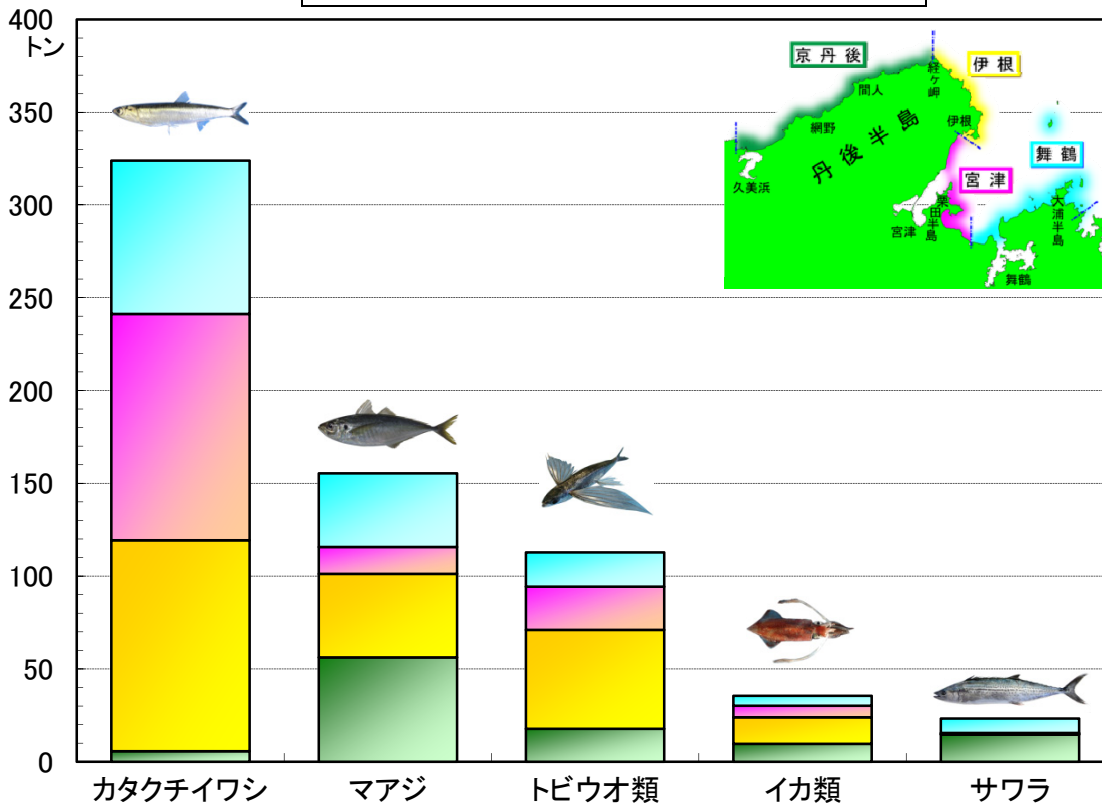
※冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすいと考えられています

漁模様 ～2012年7月～

【定置網漁業】

トビウオ類が好漁でした。全体の水揚量は平年の約8割でした。

2012年7月の地域別漁獲量(上位5魚種)



7月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2012年	2011年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	324.0	156.8 (207%)	346.4 (94%)	<カタクチイワシ> 体長 3～9cm 級の小たれが中心でした。
マアジ	155.3	107.3 (145%)	196.6 (79%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が 34トン, スルメイカが 0.9トン, アオリイカ(秋いか)が 0.4トンなどでした。
トビウオ類	112.8	66.0 (171%)	66.4 (170%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 48～57cm 級中心)が 9割強, それより大きなさわら銘柄が 1割弱でした。
イカ類	35.4	33.2 (107%)	25.4 (139%)	<ブリ> つばす銘柄(尾さ長 12～29cm)が 7割弱, はまち銘柄(尾さ長 40～47cm 級中心)が約 3割, まるご及びぶり銘柄が若干量でした。
サワラ	23.2	94.2 (25%)	101.7 (23%)	
ブリ	19.5	106.4 (18%)	65.7 (30%)	
カマス類	12.6	7.4 (170%)	7.8 (162%)	
スズキ	8.7	5.7 (152%)	8.4 (103%)	
タチウオ	7.6	1.3 (588%)	3.1 (246%)	
サバ類	5.2	9.4 (56%)	30.7 (17%)	
その他	31.4	44.2 (71%)	77.1 (41%)	
合計	735.8	632.0 (116%)	929.3 (79%)	

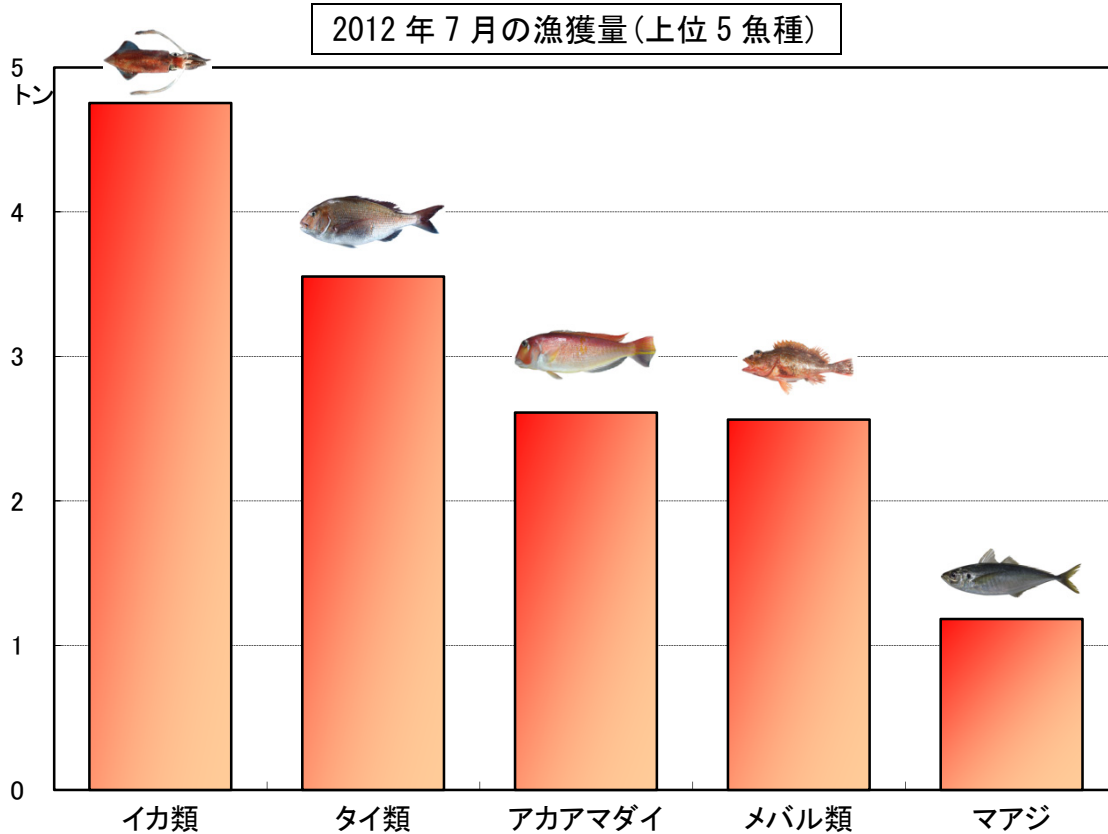
平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

資源保護のため、6月1日から8月31日まで休漁です。

【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、平年の約8割および前年の約9割でした。



7月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2012年	2011年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	4.8	4.9 (97%)	6.6 (71%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が4.3トン、スルメイカが0.4トンなどでした。 <タイ類> マダイが5割強、レンコダイが4割強、クロダイとチダイが若干量でした。
タイ類	3.6	3.9 (92%)	3.0 (118%)	
アカアマダイ <small>(ぐじ)</small>	2.6	1.5 (169%)	1.8 (143%)	
メバル類 <small>(もいお)</small>	2.6	3.1 (83%)	2.6 (98%)	
マアジ	1.2	0.7 (161%)	0.9 (126%)	
カレイ類	0.9	0.4 (242%)	0.8 (117%)	
スズキ	0.2	0.3 (72%)	0.2 (102%)	
ブリ	0.2	0.4 (37%)	0.2 (66%)	
タチウオ	0.1	0.1 (217%)	0.5 (28%)	
その他	1.7	4.3 (40%)	6.1 (28%)	
合計	17.9	19.6 (91%)	22.7 (79%)	

平年は過去10年平均